

レジメン名	(クローン病) インフリキシマブ2クール目以降8週毎	適応	クローン病
		1クール日数	56日
		上限クール数	なし

インフュージョンリアクションが発現した場合は、点滴を止め30分程度観察を行なう。症状が治まらない場合・重篤に移行すると思われる場合は、直ちにソル・コーテフ注100mg~300mg（±ポララミン注）の投与を考慮する。また、次回投与時は前投薬としてソル・コーテフ注±ポララミン注の使用を考慮する。

【注射】		投与量\day		1	7	8	14	15	21	22	28
《主管①》 生理食塩液【100】mL/瓶 ルートキープ用 点滴注射	1瓶	●									
＜側管①＞ <b>■インフリキシマブBS 点滴静注用「NK」</b>  テルモ生食【250】mL/袋(点滴用) 前3回の投与速度で忍容性が良好な場合は、投与速度を1時間まで短縮できる。 2時間以上かけて 抗癌剤点滴注射（薬剤調製）	5mg/kg (効果減弱の場合、 上限10mg/kgで投与可能)  投与間隔を短縮する場合は、 体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし、 最短4週間の間隔で投与可能  1袋	●									
フィルター付輸液セット		●									
＜側管②＞ 生理食塩液【50】mL/瓶 ルートフラッシュ用 点滴注射	1瓶	●									

【注射】		投与量\day		29	35	36	42	43	49	50	56
《主管①》 生理食塩液【100】mL/瓶 ルートキープ用 点滴注射	1瓶										
＜側管①＞ <b>■インフリキシマブBS 点滴静注用「NK」</b>  テルモ生食【250】mL/袋(点滴用) 前3回の投与速度で忍容性が良好な場合は、投与速度を1時間まで短縮できる。 2時間以上かけて 抗癌剤点滴注射（薬剤調製）	5mg/kg (効果減弱の場合、 上限10mg/kgで投与可能)  投与間隔を短縮する場合は、 体重1kg当たり5mgを1回の投与量とし、 最短4週間の間隔で投与可能  1袋										
フィルター付輸液セット											
＜側管②＞ 生理食塩液【50】mL/瓶 ルートフラッシュ用 点滴注射	1瓶										

クローン病/化療/≤3h